

全国学力・学習状況調査の結果について

貝塚市立西小学校 校長 中村 彰男

初冬の候、朝夕冷え込む季節になりました。平素は本校教育活動にご理解・協力をいただきありがとうございます。本年度も、6年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月下旬に個人ごとの結果をお返ししました。この調査は、「児童の学力や学習状況を把握・分析し、日ごろの学校での教育活動の成果と課題を検証し、その改善を図る。」ことを目的として行われています。今年度の調査は、国語・算数の2教科および児童質問紙（アンケート）について行われました。また、今年度より、大阪府独自の学力・学習状況調査である「すくすくウォッチ」が5・6年生を対象として行われました。

さて、新しい学習指導要領が小学校では2020年度（昨年度）から実施されています。（表面参照）この学習指導要領を基に、本校でも様々なとりくみを進めています。その成果の達成度合いを測るものの一つが学力・学習状況調査です。この分析を今後の教育活動に活かしていきたいと考えておりますので、各ご家庭におかれましても、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

教科に関する調査の分析（「全国値」「府値」は全国と府の平均正答率（回答率）を意味します。）

【国語】《概要》

◎国語科における現状と課題及び今後の指導について

【よかった点】

- 児童質問紙の「目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係がわかるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか」の項目は、肯定的な意見が府値や全国値を上回っている。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」の項目では、肯定的な意見が府値や全国値を大きく上回っている。

【課題点】

- 全体の正答率は府値や全国値よりやや低い。
- 「思考力、判断力、表現力等」は全国値とほぼ同じで、府値よりやや高い。
- 「知識及び技能」については、府値や全国値を大きく下回っている。
- 児童質問紙の「国語は大切だと思いますか」の項目では、肯定的な意見が府値や全国値より低い。
- 「国語は、将来、社会に出たときに役立ちますか」の項目でも府値や全国値を下回っている。

【分析と今後の指導について】

- ※このことから、主体的に授業に参加しており、自分の考えたことを伝えることができている。
- ※数年前から、本校では、単元のゴールを意識して全体を見通した学習計画を心掛けてきた。その結果、子どもたちが国語に対して明確な目的意識をもって主体的にとりくむようになってきた。その一つの成果が出た学力調査であったと考えている。
- ※しかし、「国語は、将来、社会に出たときに役立ちますか」の項目が低いことから、将来どのような場面で活用できるのかを具体的にイメージすることができておらず、今後の課題であると考えている。
- ※今後は、「知識及び技能」や「国語は、将来、社会に出たときに役立ちますか」が低いことから、学習の中でも生活の中でも言葉を大切にすることを子どもたちがもてるような指導を心掛けたいと考えている。

【算数】《概要》

◎算数科における現状と課題及び今後の指導について

【よかった点】

- 児童質問紙では、「算数の勉強は大切だと思いますか」の項目の肯定的な意見は府値や全国値より若干高い。
- 「算数は、将来、社会に出たときに役立ちますか」の項目は、肯定的な意見が府や全国よりやや高い。
- 「算数の授業の内容はよくわかりますか」の項目は府値や全国値よりやや高い。

【課題点】

- 全体の正答率は府値および全国値より少し下回っていて、特に図形領域は大きく下回っている。
- 児童質問紙の「問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の項目は、府値や全国値よりやや低い。
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」の項目も府値や全国値より低い。

【分析と今後の指導について】

- ※このことより、算数の学習は大切だと思っており、授業内容も理解できている実感はある。しかし、わからない問題に出合ったときに粘り強く考えることに課題があるといえる。
- ※今後は、以前に学習したことを使えば問題を必ず解決できるという経験や、いろいろな見方をすれば自分が思っていたものと違う見方ができるといった経験を学習の中にとりいれていくことで、子どもたちが主体的にとりくめるような工夫をしていきたいと考えている。